



遊学館だより

Vol.15
2018. JULY

ご挨拶

理事長 加藤 真一



1904（明治37）年に創設された金城遊学館を淵源とする金城学園は、建学の精神に「遊学の精神の涵養」と「良妻賢母の育成」を掲げて110年を越える歴史を刻んできました。この間に足の着いた教育を行ってきた本学園は、今日、金城大学、金城大学短期大学部、遊学館高等学校、金城幼稚園及び金城大学附属西南幼稚園を設置し、創設時の精神を継承して教育・研究活動や地域と連携した事業を推進しています。

国は、今年度の教育振興基本計画の策定に当たり、「超スマート社会（Society 5.0）」や「人生100年時代」の到来を予測しているようですが、本校も中長期的な視点からの改善・改革を検討する際に大いに参考としています。施設・設備の整備や教育課程の見直しの他、例えば、校務支援システムの導入やノートルダム・サン＝シジスベール校（フランス・ナンシー市）との交流の深化などの取組に活かしています。

新しいものを取り入れながら、同時に、歴史と伝統を重んじて、時代の要請と社会のニーズに応える学園の創出に努めてまいりますので、皆様のますますのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

校長 竹田 剛



今年度は405名の新生を迎え、全校生徒1,420名でスタートしました。少子化が進む中、多くの生徒が集い本当にありがたいことだと感じています。これも偏に、日頃の生徒の文武両面にわたる活躍が学校全体の雰囲気明るくし、元気のある学校として世間から一定の評価を頂いているお陰だと考えています。

さて、最近の高校教育を取り巻く状況は、21世紀社会において必要とされる資質・能力の養成を目的に、高大接続改革（高校教育改革、大学教育改革、そしてそれらを結ぶ大学入学者選抜改革の一体的改革）が進められています。高校教育改革では、学習指導要領の抜本的な見直し、アクティブラーニングの視点からの学習・指導方法の改善、学力3要素育成の観点からの多面的な評価の推進等が掲げられており、その測定ツールとして「高校生のための学びの基礎診断」が2019年度より試行されます。また、大学入学者選抜改革では、これまでの大学入学センター試験に代わり、思考力・判断力・表現力の一層重視の立場から、記述式問題の導入や英語4技能を評価する「大学入学共通テスト」が2020年度よりスタートします。グローバル教育、主権者教育、SNSの発達に伴う情報モラル教育なども併せ、時代の要請に応じていくべく、本校も日々進化して参りますので、引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶

育朋会会長 塩田 整

「世界に飛ばたく遊学館」

高校生としての中心は毎日毎日行っている勉強です。しかしもう一つ大事なものがあります。日々練習している部活動です。部活の仲間と同じ目標に向かって努力することで多くの事を学びます。

また、ネット時代を制覇するためにかかせないのがスマホです。そのスマホと電子辞書を片手に我が息子が大学生時代の楽しい思い出に1人で世界を旅しています。世界に飛ばたく生徒もいます。遊学館高校の卓球部の生徒、バトントワリング部の生徒も実力を挙げ日本ばかりでなく世界大会参戦に出る現実味溢れる昨今です。

最後になりましたが、ご父兄の皆さまに遊学館高等学校育朋会活動の多大なご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



主要な行事予定（平成30年4月～31年3月）

- | | | | |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------------------------------------------------------------------------|
| 4月 | 入学式、始業式、新任式、クラブ紹介
健康診断、身体測定
校内研修（高大連携企画マナー講座）
内科検診、歯科検診
生徒指導講話
スポーツテスト
「進路の手引き」説明会
遊学講座開講式 | 9月 | 始業式
学園祭
県高等学校新人体育大会（前期）
前期生徒総会
大学・短大見学会（1年生） |
| 5月 | 遠足
面談週間
中間考査
育朋会総会
保護者対象進路説明会（3年生）
避難訓練 | 10月 | 文化教室
中間考査 |
| 6月 | 県高等学校総合体育大会
県高文連総合文化祭
保護者対象進路説明会・コース説明会（1年生）
体育祭 | 11月 | いしかわ教育ウィーク
創立記念日
県高等学校新人体育大会（後期） |
| 7月 | 期末考査
進路行事
金城体験講座（金城コース2、3年生）
創設者お墓参り
性教育講話
終業式、保護者会、三者懇談会
コース体験入学
夏期補習 | 12月 | 期末考査
金城体験講座（金城大学コース2年生）
球技大会
終業式、保護者会
冬期補習 |
| 8月 | 夏期補習
部活動体験入学
全学年登校日
課題試験 | 平成31年 | |
| | | 1月 | 始業式
課題試験
推薦制入試 |
| | | 2月 | 一般入試
期末考査
遊学講座閉講式、仮終業式（3年生）
面談週間
卒業式予行、同窓会入会式 |
| | | 3月 | 卒業式
修学旅行（2年生）
遊学生の本主張コンクール、後期生徒総会
球技大会（1、2年生）
終業式、離任式
入学説明会 |

教育の特色

1. コース制

本校生徒の進路希望は進学から就職まで幅広く、多様な進路に対応するコース制を取り入れています。

■ 特別進学コース

国公立大学進学希望者に対応し、各学年 1 クラスずつで選抜されます。2・3 年生は週 4 回の 7 限授業、さらに授業後や長期休暇中には補習授業などが組まれています。入試の成績優秀者には、学業奨学生制度もあります。

■ 一般進学コース

1 年生は一部のクラスで英語の学び直し授業を取り入れています。2 年生からは文系・理系・教養のクラスに分かれ、各クラスの進路目標に適した授業を行います。

■ 金城大学コース

併設の金城大学（社会福祉学部・医療健康学部・看護学部）、および短期大学部（ビジネス実務学科・美術学科・幼児教育学科）への進学希望者で編成し、定期的に大学・短期大学部との交流も行います。2 年生からは学部・学科ごとに分かれた基礎的な専門授業も取り入れています。

2. 遊学講座と部活動

本校は課外活動も積極的に行っています。土曜日には全員参加の遊学講座を年 24 回開講し、今年度は 64 講座を開講しています。また、部活動も盛んで、これらの課外活動は生徒の人間性を広げ高めることに大きく役立っています。（詳細については、それぞれのページをご覧ください）

3. 今後の展望

大きく変わろうとしている大学入試（センター試験から大学入学共通テストへ）や高校の教育課程（カリキュラム）に、本校としてどのように対応していくかが大きな課題です。建学の精神と、時代に合わせて社会が求める新しい学力観や人間力を念頭に、遊学館としてどのような教育が提供できるかを新たに構築しなければなりません。また、ICT（教育機器）を取り入れた授業改革や、留学生、姉妹校、海外修学旅行といった国際交流も積極的に推進したいと考えています。

以上のような課題については、専門のプロジェクトチームを中心に検討を進めています。

先生ブログ

本校には、個性と魅力にあふれる先生方がたくさんいます。そんな先生方の一面を紹介しているのが「先生ブログ」です。「先生ブログ」は本校のホームページに掲載されており、本校の先生方が毎週交代で文章を寄せています。内容は、学校生活の一コマ、生徒への激励メッセージ、先生方の知られざる一面(?)など、様々です。2007(平成19)年8月7日に始まったこのブログは、昨年10月19日で500回を数え、学校では記念誌も作成しました。以下に、最近のブログをタイトルで紹介します(6月14日現在)。愛読者もいらっしゃるかと聞いておりますので、皆さんもぜひ一度ご覧ください。

第533回(6月14日)「泣いてもらいます」

第532回(6月7日)「今の自分にできること」

第531回(5月31日)「国際理解は金沢から」

新入生データ

新入生405名を多面的に分析してみます。次の質問に対する答えを考えてください。

Q1: 男女比は?

Q2: ① 出身中学ベスト3は?

② 県外出身者は何人?

Q3: ① 専願率は何%?

② 併願校ベスト3は?

Q4: リピーター(祖母・母・父が卒業もしくは姉・兄が在籍)は何人?

A1: 男子46:女子54

A2: ① 1. 野々市中23人 2. 高岡中19人 3. 西南部中・港中・河北台中16人
② 29人(東京5人、新潟・岐阜3人、……、台湾1人)

A3: ① 約60% ② 1. 県立工業27人 2. 金沢伏見25人 3. 金沢商業22人

A4: 96人(23.7% 今年初めて父卒と父母卒の入学生が誕生しました!)

遊学講座

遊学講座は、「遊学の精神の涵養」を建学の精神に掲げる本校独自の取り組みとして、今年で27年目を迎えます。“異次元・異空間の学び”、“主体的な学び”をキャッチフレーズに、年間24回の土曜日に実施されています。生徒は60余りの講座から、学年やコースに関係なく好きな講座を選択します。講座は、資格取得、受験対策、スポーツ・芸術、趣味・教養など様々です。講師は本校教員だけでなく、校外からも一流の先生方をお招きしています。また、学びの場を広く校外にも求め、金城大学、老人ホーム、ゴルフガーデン、クッキングスクールなどに加え、2年前から“街なかキャンパス”と称して北國新聞会館、香林坊ラモダスタジオ、北国会館香林坊プラザでも講座を開設しています。毎年選ぶ講座を変えて幅を広げるもよし、3年間同じ講座を選んで腕を上げるもよし、生徒達は自分の個性やニーズに合わせ、主体的な姿勢で受講することが求められます。保護者や卒業生が特性を生かして教壇に立たれることもありますので、今後も魅力ある講座を増やし、この特色をさらに発展させたいと考えています。



<受講風景（「遊学講座ガイドブック」より）↑>

◎ 今年度の主な開設講座

国語検定、硬筆書写検定、俳句塾、点訳、施設実習、理系数学、医療・看護への道、ゴルフ、ビームライフル射撃、弓道、空手道、フットサル、コーフボール、ピアノ実技演習、美術入門講座、書道、英語検定、英会話、中国語、韓国語、きもの着装、手編み、クッキング、茶道、いけばな小原流、CS検定、パソコン検定、珠算、日商簿記検定3級、ペン字、マナー検定、ストリートダンス、カポエイラ、スタンドグラス、囲碁、将棋、お箏、オカリナ、ギターアンサンブル、菜園づくり、造形、楽しいクラフト講座、水引art、ヨガ、太極拳、セラピー入門、ミュージカル

「金城大学」 & 「金城大学短期大学部」のご案内

遊学館高等学校を運営する金城学園には、白山市に金城大学と金城大学短期大学部があります。高校卒業後も自宅から通学でき、しかもそれぞれの興味・関心、適性、価値観などに応じて、将来の職業を選ぶことのできる学部・学科を設けています。

金城大学は、リハビリテーション、看護、福祉、子どもの専門職になりたい若者が4年間かけて専門職になるための国家資格を目指します。また、専門職という仕事にとどまらず、職場や地域のリーダーとして活躍できる人間力も身に付けます。

金城大学短期大学部は、40年以上の伝統をもち、幼児教育、美術、ビジネス実務という3つの異なる専門分野を学ぶ学生たちが一つの校舎に集っています。さらに同じキャンパスに金城大学の学生もいる恵まれた環境があり、自分の専門分野のスキルや資格を修得するだけでなく、興味や考え方の異なる人とのコミュニケーション能力も身に付けます。

また、大学・短大ともに、教員と学生の距離が近いこと、就職等の進路への親身なサポートについても、学生から高い評価を得ています。

☆学部・学科の紹介☆

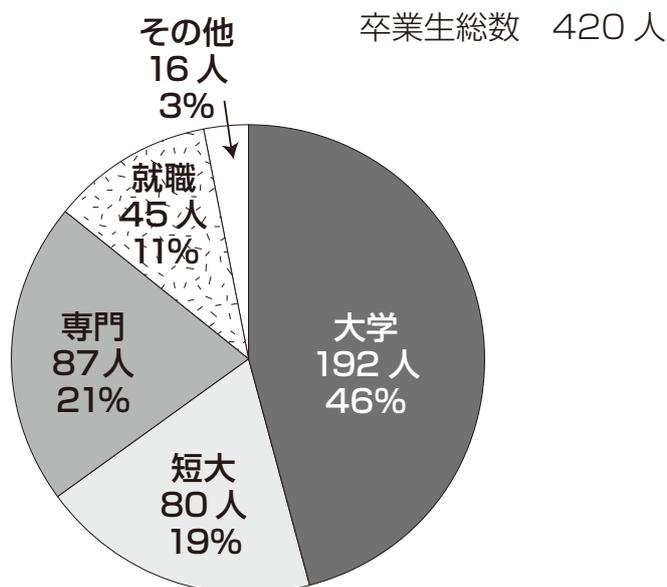
金城大学	金城大学短期大学部
<p>■社会福祉学部：「社会福祉学科」「子ども福祉学科」 子ども、福祉、医療情報の各分野において地域社会のリーダー的人材の育成を目指しています。また「子ども福祉学科」では、「保育士資格」「幼稚園教諭1種免許」「社会福祉士」のトリプルライセンス取得を目指します。</p> <p>■医療健康学部：「理学療法学科」「作業療法学科」 さまざまな地域連携プロジェクトを通して、実践的学びを深める「理学療法士」「作業療法士」を育成します。</p> <p>■看護学部：「看護学科」 患者さんが住み慣れた地域で医療や介護のサービスを受ける「地域包括ケアシステム」の構築が進む中、地域包括ケアをリードできる地域に根差した看護師を育成します。</p> <p>■大学院：「総合リハビリテーション学研究科」</p>	<p>■幼児教育学科 「保育士資格」と「幼稚園教諭2種免許」を2年で無理なくダブル取得できるよう、学びやすく密度の高いカリキュラムを実施しています。</p> <p>■美術学科 北陸の短大唯一の本学美術学科として、「油画・日本画」、「マンガ・キャラクター」、「デザイン・ビジネス」、「ゲーム・映像」、「ファッション・スタイリスト」、「染色・陶芸」、「インテリア・コーディネート」の7コースを設置しています。</p> <p>■ビジネス実務学科 『カフェテリア履修』で多彩な進路選択が可能な4コース「ビジネス総合」、「メディカル秘書」、「ホテル・観光」、「フードビジネス」を設置しています。取得を目指す資格も40種以上に及びます。</p>

☆遊学館高校3年生のみが対象となる推薦入学試験では、入学検定料（3万円）が免除されます。

☆「遊学館高校出身学生」卒業後の進路（過去3年間）☆

金城大学	金城大学短期大学部
<p>就職率100%（就職者50人／就職希望者50人） ＜主な職種（大学全体）＞ 福祉関係：介護職、社会福祉協議会職員 支援員（障害者施設） 保育関係：保育士、保育教諭、幼稚園教諭 医療関係：理学療法士、医療ソーシャルワーカー 一般企業：事務職、販売職、営業職 他</p>	<p>就職率99%（就職者142人／就職希望者143人） ＜主な職種（短大全体）＞ 保育関係：保育士、保育教諭、幼稚園教諭 医療関係：医療事務、医療秘書、受付、 医師事務作業補助 一般企業：事務職、サービス職、販売職など 制作関係：グラフィックデザイナー、WEBデザイナー、 映像制作、工芸作家、マンガ家、ゲーム制作、 ファッション・スタイリスト 他</p>

平成29年度卒業生の進路状況



主な合格実績

【国公立大学】

滋賀、富山、名古屋工業、石川県立大、石川県立看護、富山県立大、名古屋市立、島根県立大、長崎県立大

【私立大学】

金城、金沢工業、金沢星稷、北陸、金沢学院、北陸学院、早稲田、明治、法政、東京理科、東京経済、東洋、駒澤、國學院、日本、創価、神奈川、東海、愛知淑徳、立命館、佛教、京都産業、京都外国語、龍谷、関西外国語、近畿

【短期大学】

金城、金沢星稷女子、北陸学院、金沢学院、富山福祉、城西、帝京、中日本自動車、中京学院

【専門学校】

金沢医療センター附属金沢看護、石川県立看護専門、金沢看護、七尾看護、加賀看護、金沢リハビリ、国際医療福祉、金沢医療事務、大原医療福祉・製菓 & スポーツ、金沢科学技術、歯科医療、国際ペット、石川県調理師、金沢調理師、石川県理美容、金沢美専、スーパースイーツ製菓、金沢製菓調理、金沢文化服装学院、北信越柔整、国際ホテル & ブライダル、七尾産業技術
他県外専門学校

【就職】

自衛隊漕候補生、自衛官候補生、カナカン、金沢村田製作所、トランテックス、米沢電気工事、ウィルコーポレーション、麩金、中田屋、MX モバイリング、かづ美、ホテル日航金沢、クール金沢、島屋建設、アサヒゴウセン、オーキッド、佃食品、倉庫精練、ヨシダ印刷、西日本旅客鉄道、中川製紙、ナビックス、エービーシー・マート、フィットハウス、KKR ホテル、ヴィテン、千木町ケア・センター、カネヒサ、トヨタ自動車、つかもと、日本食研 他

遊学館高校の進路指導

遊学館高校の進路希望は、別に示した進路状況からもわかるように就職、専門学校、短期大学そして4年制大学と多岐にわたっています。進路指導部は、学年会と協力しながら各生徒の進路目標の実現のために必要な支援に取り組んでいます。具体的な活動として、金城大学との交流授業や就職講座、看護希望者説明会、保護者対象進路説明会などの学校行事の企画、運営を行っています。その他に、本校独自の活動として放課後に図書室を夜8時まで開放して自学自習ができる「スペシャル講座」を行っています。進路指導部は、一人でも多くの生徒が進路目標を実現できるように、これからもしっかりサポートしていきたいと思えます。

【卒業生からの近況報告】

滋賀大学 経済学部 1年 堂ヶ平純奈

私はこの春から、経済学部社会システム学科の一回生として滋賀大学に通っています。私の通う彦根キャンパスは天下の名城の一つに数えられる彦根城のすぐ側にあり、毎日お城を見ながら登下校しています。経済学部屋間主コースの在籍学生数は一学年500人ほどいるので、国公立大学の経済学部の中ではかなり大規模です。学科は5つに分かれています。学科間の垣根はあまり無いので基本的には自分の好きな授業を受けることができます。さらには、同キャンパスのデータサイエンス学部の授業を受けることも可能です。

それでは、私の大学生活について詳しく紹介していきます。

まず大学の授業についてですが、一回生の春学期はやはり必修の授業が多いです。私が選択した英語と第二言語の中国語の授業はそれぞれ週二回ありますし、体育もしっかりとあります。ですが、希望して履修する授業もそれなりに多く、興味のある授業を受けることができます。私が現在履修している授業を一部挙げますと、法学や日本国憲法などの法に関する授業、シンガポール社会を学ぶ授業、青年期やファッションの心理を学ぶ心理学の授業など様々なジャンルの勉強をしています。今挙げた中でも面白そうと思うものがあつたのではないのでしょうか？また、高校とは違い授業時間は90分になるのですが、自分で選んで受ける授業ばかりなのであまり長いと感じることも無く、辛さを感じません。

次に、一人暮らしについてですが、正直とても大変です。毎朝自分で起きて、朝ごはんとお弁当を作って学校に行くという大したことはないと思われる作業ですが、毎日するとなると苦勞しています。特に料理に関しては、一人暮らしをする前まではあまりしてこなかったのが最初は戸惑いました。けれどもやはり、徐々に慣れてきますし、料理も何とかなっています！大変な分、自分はちゃんとやりこなしているんだという自信にもなります。そして、一番実感したのは実家のありがたさです。これは一人暮らしをしてみないと絶対に感じることは出来ないと思えます。

大学生活を始めてまだ半年も経っていませんが、毎日自身の成長を感じています。面倒だと思ったり、苦しいと感じることもありますが、いずれ社会人として自立するため！と自分に言い聞かせて頑張っています。今までにこれほど自由に生活できる機会はありませんでした。この時間は、私に関係する人たちが支えてくれているおかげで成り立っている、貴重な時間だということを忘れずにこれからも大学生活を送ってきたいと思います。

生徒会活動

前期生徒会 会長 大友 黄司

私たち前期生徒会は、男子2人、女子2人で活動しています。主な活動内容は、新入生対象の部活動紹介、遊学講座開講式での挨拶、総体・総文・百万石パレードの激励会、体育祭・学園祭の企画・運営などがあります。

4月に行われた部活動紹介は生徒会として今年度初めての活動となりました。バトントワリング部、吹奏楽部とも協力し、華やかな部活動紹介になりました。また、5月に行われた総体・総文・百万石パレードの激励会では、選手に向けてのメッセージ作成に取り組みました。先生方にも協力していただき、選手の心に残るようなメッセージを作成できたと思います。

体育祭では、3年生が中心となり全学年が一致団結して最高の盛り上がりを見せました。グラウンドには、生徒たちの熱気と笑顔があふれ、時には生徒とともに熱くなる先生方、温かく見守る保護者の方々が見られました。そして遊学館高校ならではのユーモアと活気、強い絆が伝わってきた一日でした。

これから始まる学園祭でも、生徒や先生方とも協力しながら遊学館らしい温かい学園祭となるよう努力していきます。生徒会活動は生徒や先生方、一人一人の力が必要です。その力を生徒会役員が一つにまとめ、遊学館の歴史に新たな1ページを刻めるように努力していきます。

購買 & 食堂だより

購買・食堂スタッフ一同

『おばちゃん！覚えとるけ～遊びに来たよ！！』そう言って、卒業した何人もの生徒さんが顔を見せに来てくれます。楽しい高校生活の思い出の一つになっている、そんな購買・食堂です。

購買では、学用品のほか、おにぎり・パンなどの販売をしています。三限目後、パンの販売が始まると購買は大混雑です。一番人気は『このパン、昔からあるよね！！』今も昔も根強い人気の「から揚げパン」新商品では、「きなこパン」・「あげもち」も大好

評です。

また、食堂では、カレーやうどんの他、曜日ごとに二種類のラーメンを販売しています。寒い冬には味噌ラーメン・暑い夏にはとんこつラーメンなど、季節によっても違う味が楽しめますよ。スタッフと会話を交わしたり、卒業生が先生と一緒に食事をしたり、ほっこりした場所になっています。

これからも、生徒さん・先生方のおなかと心を満たして、卒業しても足を運んでくれるような場所でありたいなあとと思います！



新任教員紹介

田中 将希 ■ 数学・情報



今年度から1、2年生の数学、1、3年生の情報及び商業を担当しております田中将希と申します。今年の3月で大学を卒業し、ご縁もあり本校で勤務させて頂くことになりました。

私は、この遊学館で駅伝競走部に所属しながら高校生活を過ごしました。辛いことも多く逃げ出したくなる場面が幾度となくありましたが、先生や両親、友達への支えもあり、目を背けず乗り越えることができました。これらの経験を活かして、生徒に対して、目の前の現実から目を背けることなく、精一杯立ち向かっていけるように指導していきたいと思っております。

また授業では、数学の特徴でもありますが、一つの答えに辿り着く方法は複数存在します。それは一つの物事に対して様々な視点から視る力に繋がっていると考えています。生徒たちにはその力を養い、社会で生きていく力に変えていってほしいと思っております。

生徒の成長を促しながら、自分自身も1人前の人間になれるよう日々精進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

マーク ヒーギンス ■ 英語



今年度から1、2、3年生の英語のALT「外国語指導助手」をしておりますマークと申します。去年の9月から遊学館に勤務させて頂いております。

金沢に住んで6年間ぐらいい経ちました。出身はアメリカのモンタナ州ですが、今、金沢は第二の故里と思っております。この6年間に数校に勤務しましたが、大勢の生徒と会って、遊学館の生徒の明るくて元気な挨拶と学校の雰囲気が一番良いと思っております。

現在、新幹線と日本の魅力のおかげで、金沢に滞在する外国の観光客がますます増えています。そのために、英語が学生に役に立つと思っております。私は皆に英語を少しでも好きになってもらえたら、本当に嬉しいと思っております。

Everyone! Let's learn English together! どうぞよろしくお願い致します。

道下奈津子 ■ 化学・生物



今年度より1年生の化学と2年生の生物を担当しております道下と申します。今年、大学を卒業し、この度ご縁をいただきまして遊学館高校で勤務させて頂くことになりました。まだ、遊学館高校に着任して間もないですが、遊学館の生徒との楽しい時間を通して、とても有意義な時間を過ごさせて頂いております。

私は、高校の時の生物の先生がきっかけで教師を目指すようになりました。高校の生物の先生の授業をうけ、生物とはただの暗記だけではなく、とても自分の身の回りに深く関わっていて身近な疑問をととても解決してくれるものだと気づき生物がとても好きになりました。そして生物の楽しさを多くの生徒に知ってもらいたいと思い、教員を目指すようになりました。

授業では、暗記だけではなく、自分の考え、みんなの考えを伝えて意見を共有することを大切に、より多くの視点で物事を考えることのできるような力を身に付けていってほしいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。

三納英莉佳 ■ 保健体育



今年度から1・2・3年生の保健体育の担当をしております三納英莉佳と申します。昨年度までは、公立の中学校で勤務しておりましたが、このたびご縁を頂きまして遊学館高校で勤務させて頂いております。4月から皆さんと過ごしている1日1日がとても、新鮮で楽しく、元気をもらっています。

私には、好きな言葉があります。それは、「一生懸命だと知恵が出る、中途半端だと言訳が出る、いい加減だと愚痴が出る」という言葉です。私は、遊学館高校の生徒と学校生活や授業、行事など様々なことを一生懸命取り組んでいきたいと思っております。一生懸命取り組むことで、壁にぶつかるとか、新しい発見、そして成長できることなど、沢山のことが経験できます。私自身、そのような経験を沢山してきました。だからこそ、皆さんの高校生活が最高の3年間に出来るよう、手助けしていけるように努力したいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

山本 護嗣 ■ 地歴



今年度から2、3年生の日本史を担当しております山本護嗣と申します。今年の3月に大学を卒業し、この度ご縁をいただきまして遊学館高校で勤務させて頂いております。

出身は富山県で、大学進学の際に石川県に来ることになりました。学生の頃、通学の際に遊学館高校の生徒を見ることが多くあり、とても活発で元気があるという印象を持っていました。そのような生徒達の教鞭を執れることをうれしく思っています。

授業では、生徒が歴史を楽しく覚えられるように、日本史をただの単語の暗記ではなく日本昔話のような物語として捉えられるような授業を目指しています。

新社会人として、生徒に教えるだけでなく、自分自身も学ぶことを忘れずに常に向上心を持って過ごしたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

島山 雪代 ■ 英語



今年1月に臨時採用され、本年度は2年生と3年生のコミュニケーション英語・英語表現を担当しております。

大学では数学を専攻し、卒業後は昨年12月末まで外資系(米、印)IT企業にて技術職に従事していました。英語は職務を遂行する上で必要な能力として勉強しました。そんな中、ボランティアで中学生を教えていたのですが、一人の勉強があまり好きでなかった生徒が無事希望校に合格し、最後に「先生ありがとう。」と言ってくれました。その時の感動が私を教師の道に進めさせました。英語免許は働きながら追加取得しました。

私は英語力によって、海外出張、異文化との触れ合い、他の外資への転職などのチャンスを得てきました。そして今回、遊学館高校で講師として働くというご縁にも恵まれました。生徒の皆さんにも英語を習得することで可能性を広げて欲しいと願っています。その一助となれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

東京修学旅行

井川 輝彦



高校生活で一度きりの修学旅行。東京での4日間は私たちにとって、これから先の人生で味わうことができない記憶に残る思い出となっています。金沢から東京までを北陸新幹線で仲間との交流を楽しみながら移動しました。東京に到着すると、まず驚いたのは人の多さです。日本の中心地でこれから過ごすことに大きな期待を抱きました。

1日目は浅草寺・東京スカイツリーに行きました。東京の文化を学び、東京スカイツリーの展望台からは東京を一望するその景色に感激しました。

2日目は班別自主研修で、あらかじめ各班で計画したコースを周りました。それぞれの班に個性があり、都内で興味、関心のある場所を自由に行動できた充実した時間だったと思います。

3日目はディズニーランド・シーで1日過ごしました。どんなに嫌なことも忘れられる夢の国で、気の知れた仲間と素晴らしいひとときを過ごすことができました。

最終日は上野動物園へ行き、初めて見るパンダや普段見慣れない動物たちとの触れ合いを楽しみました。

東京隊の良い点は、自由な時間が多いことです。自分達で計画を立て行動する大切さを学ぶことができます。その反面、ハプニングや失敗もあります。ですがたくさんの経験や勉強ができること間違いありません。修学旅行東京隊でしか味わうことのできない数々の経験、溢れてくる思い出。充実した4日間を体験させてもらったことに感謝し、家族や先生方に成長した姿を見せていきたいです。

九州修学旅行

林田 静蛇



私たちは三月五日から九日までの五日間、九州へ修学旅行に行きました。

まず初日と二日目は長崎自主研修でした。原爆資料館に行き、その後全員でハウステンボスに行きました。原爆資料館では、再現された原爆投下直後の街の様子や資料を見て、原爆の恐ろしさを目の当たりにしました。それまで僕は、戦争や核兵器についてあまり関心がなかったのですが、この体験を通して、改めて原爆の脅威を知り、一刻も早く廃絶されることが必要だと思いました。

二日目の自主研修では、長崎の町を班で巡りました。長崎は坂が多く歩くのは大変そうだと思っていました。しかし、路面電車を活用しながら移動したおかげで思っていたよりスムーズに動くことができ、余裕ができました。余裕ができたおかげで名物をたくさん食べることができました。長崎には原爆の名残として残っている場所がたくさんあるのでぜひ見てみてほしいです。

三日目は、博多での自主研修でした。私たちは、キャナルシティ博多に行きました。ディズニーストアやジブリショップなど、石川県にはない店を多々巡ることができました。夕飯には、もつ鍋を食べました。博多といえばラーメンを思い浮かべる人もいますが、もつ鍋もおすすです。

四日目は、皆が待ち望んでいたUSJでした。あいにくの悪天候で乗れないアトラクションもありましたが、各々がこの状況を踏まえ、少しでもたくさん巡れるよう考えて行動しました。雨の中でもアトラクションに乗り、土産を買うことができました。

そして最終日の大阪自主研修では活気に溢れた市内を巡りました。たこ焼きや串カツを食べました。しかし、思っていたよりも時間が少なかったです。

限られた時間のなかで楽しむために、事前の下調べは大切なので来年はしっかりと調べてほしいです。計画通りに進められなかったこともありましたが、班の皆で楽しむことができました。同じバス号車のなかには、仲のいい人も、初めて話す人もいましたが、皆が楽しめる充実した修学旅行になりました。

クラブ活動報告

■バトントワリング部

顧問 松田 淳

私たちバトントワリング部は、1977年（昭和52年）創設、今年で41年目を迎えます。現在の部員数は3年生9名、2年生12名、1年生9名の総勢30名です。

高校のバトントワリング競技には、年間2回、夏8月と冬12月に全国大会があります。

昨年の夏の全国大会「ジャパンカップ全国高校選抜大会」では、準優勝の全国2位でした。この夏の全国大会の実績としては、4年連続全国優勝（4連覇）を達成しています。

また、昨年の冬の全国大会「バトントワリング全国大会」では、29年連続北陸代表として出場し、全国3位でした。この冬の全国大会の実績としては、通算13回の金賞受賞、4度のグランプリと文部科学大臣賞を受賞し、日本一の栄冠に輝いています。この夏冬の全国大会における“日本一への挑戦”は、代々の部員たちから脈々と継承されている大切な伝統であり、目標となっています。

さらに、今年は私たちのチームにとって、新たな挑戦の年となっています。私たちのチームから、初の世界大会日本代表が選ばれました。2年生の中野雅奈梨・梨子村朱莉ペアです。2人は、8月1日から、アメリカのフロリダ州キシミーにて開催される「第34回世界バトントワリング選手権大会」に日本のナショナルチームのメンバーとして出場します。2人の目標は、大会会場のメインホールに日の丸を掲げるという“世界一”をめざしています。日本とアメリカ、遠く離れていますが、ぜひ応援のほどお願いいたします。バトントワリングの国際大会では、日本は世界でもトップクラスの実力を誇っており、個人種目や団体演技でも常に1位を独占しています。ぜひ、2人の活躍にご期待ください！

私たちのチームは、「石川から全国へ！」を合い言葉に、挑戦と向上を日々のテーマとしています。また、演技前には必ず全員で“顔は笑顔、心はひとつ、めざすは1番！”と唱え、前向きにベストを尽くす姿勢をもって演技に向かっていきます。

全国大会への挑戦と同じく大切にしている活動が校外での出演です。幼稚園・小中学校・社会福祉施設などの行事、各種式典や開会式での演技披露、各地でのパレードなど、年間40回近くにおよぶ校外での出演を通して、多くの方々と交流を図り、温かい笑顔で心を結んでいます。

私たちは部活動を通じて、日々、周囲の方々への挨拶や礼儀、マナーを実践しています。卒業後にいろいろな社会で役立つ人間になれるよう、心くばり・心くばりを磨いていきたいと思えます。そして、今という高校時代に人間性を高めることが部活動の最終目標だと考えています。

毎年、バトントワリング未経験の新入生が入部してきてくれます。経験者でないと入部できないということは決してありません。入部してからが勝負です。時間がかかっても必ず全国大会に出場できるレベルまで育成します。フロアやパレードでは華やかに演じるバトントワラーも日々の練習はとも地道です。反復練習の毎日です。そのコツコツと努力を継続することこそが、日々の高校生活を充実させるための大切なリズムにもなっています。部員たちは多くの学びを部活動から得ています。

街角で、ホールで、フロアで、バトントワリング部の演技をご覧になることがありましたら、その時は、ぜひ温かい拍手をお願いいたします。「遊学か〜ん！」のご声援は、彼女たちを元気百倍、より一層笑顔で輝けるでしょう。

よろしくお祈りいたします！



昨年、平成29年6月
金沢百万石まつり音楽パレードで
活躍した当時の3年生部員たち（金沢駅前）



昨年、平成29年12月
第44回バトントワリング全国大会
全国3位の迫真の演技（千葉幕張メッセ）

■男子卓球部

顧問 植木 大

遊学館高校卓球部の指導理念は「良夫賢父」です。これは女子校（金城）だったころの建学の精神である「良妻賢母」にかけたものです。選手たちは、いずれ結婚して夫となり、子どもが生まれたら父親になります。そのときに、良き夫、賢き父になってほしい。「卓球を通して、将来、社会で通用する男に育ててほしい」というのが私の指導テーマです。「良夫賢父」のテーマのもと、部員20名は「日本一」を目指し、365日の練習に努力しています。その結果、石川県総体では21年連続優勝し、インターハイへの出場権を獲得しました。昨年のインターハイでは、始めて決勝戦に進出しましたが、準優勝という悔しい結果となりました。インターハイでは遊学館らしいプレーで、悲願の優勝を目指します。そのためには、多くの方々の協力やご支援が必要となります。保護者や学校、チームメイトなど、たくさんの方々に感謝の気持ちを持ち、お世話になった方々へ、優勝という恩返しができるよう努力していきます。

■女子卓球部

顧問 安達 健佑

女子卓球部は、現在 10 名の部員で活動しております。今年度は、石川県総合体育大会（インターハイ予選）で 21 年連続優勝を達成することができました。このような結果を残すことができたのは、日頃から応援して下さる皆様のおかげです。目標である「日本一」を目指して部員と共に精進したいと考えております。

また、部活動だけでなく、学業面や学校生活等においても他の生徒の模範となれるような人物を目指し、日々指導しております。

これまでの先輩方が作りあげてきた良き「伝統」をさらに発展させ、さらなる飛躍をしたいと考えております。応援よろしくお願いたします。

■男子バレーボール部

顧問 津田 拓揮・辻元 友視

男子バレーボール部は現在、選手 21 名、マネージャー 4 名の計 25 名で活動しています。昨年度に新しい体育館が完成し、新体育館で日々汗を流し頑張っています。男子バレーボール部では技術の向上を目指すことはもちろんですが、礼儀や挨拶などもしっかりできる、人間性のある選手を育成したいという思いがあり、部活動以外での指導も積極的に行っています。3 年間の活動を通してバレーボールの選手としても、1 人の人間としても成長できたという実感を持って卒業してもらえよう、顧問も努力を続けていきたいと思ひます。



夏の高校総体では初戦に羽咋高校と戦い、接戦の末に敗れてしまい大変悔しい思いをしました。ただ、その試合から学ぶことは多く、試合に出た出てないに関わらずとても良い思い出になったと思ひます。試合の中で技術面での成長もそうですが、部員たちの試合に向かう姿勢や仲間とのコミュニケーションをしっかりと取り合い戦う姿など技術面以外での成長も見られました。

部員たちには自分で考え悩みながら、自分ができることをしっかりと実行していけるよう頑張ってもらいたいと思ひます。また、チーム一丸となって成長できるよう選手たちと共に頑張っていきたいと思ひます。



■女子バレーボール部

顧問 福田 圭一

女子バレーボール部は、金城高校時代から歴代の顧問の先生が熱心に指導されてこれ、過去には県大会優勝の経験もある歴史と伝統のあるチームです。（昭和 20 年代後半～ 40 年）

現在は、私、福田が顧問になりはや 16 年が過ぎました。その間、部員たちの頑張りと多くの卒業生の方々のご指導やご支援、保護者の皆様の応援を賜り、全国高校総体（インターハイ）石川県予選・新人大会・バレーボール祭・春高バレーという県内大会の全ての大会において準優勝することができました。近年では、北信越大会の出場が 30 回を超え、3 位など上位進出を果たせるようになってきました。また石川県全域から生徒は通学しています。チームは持ち味である仲の良さ、ここという時の爆発力、アイデアと工夫のある精度の高いバレーを目指して活動しています。近年では春高バレーの代表決定戦進出が定着した感がありますが、まだ悲願達成には至っていません。しかしやってきたことに、間違いはなかったと感じています。それは学校生活や卒業後の彼女たちから十分に伝わってきます。常に生徒たちと熱く、今年は大目標を“存在の証明 Lock on the Target”と決めました。



今年の 3 年生 8 人は昨年の主力メンバーです。低身長を粘りのバレーで上位をキープしてきましたが、先日行われた高校総体で 12 年振りに 4 シードを失いました。この便りが出る頃には元気に活動していると思ひますが、2 週間経っても従来の取り組みとはいきません。私も顧問になった当初を思い出し、原点に戻り、部員とチャレンジしていきます。弱点を克服して、高みを目指します。春高バレーでは“遊学バレー”を謳歌し、結果に繋げてもらいたいです。中学生の皆さん、是非、新体育館と共に石川のバレー史に新しいページを刻みませんか。遊学館で青春を謳歌しませんか。（^^）



■男子バスケットボール部

顧問 吉田 昌史

3 年生にとって最後となる夏の大会は、野々市明倫高校との 1 回戦をナイスゲームで勝利し、2 回戦、出だしてなかなか得点できず、そのままの流れでゲームが進み、小松工業高校に敗退しました。一年間を振り返り、もっと練習をしっかりできていればという思いもあり、試合の内容は悔いの残る結果となりました。そんな 3 年生の姿を後輩達は忘れずに、これから充実した 1 年を送ってほしいものです。



応援して下さった皆様方、本当にありがとうございます。現在、新チームは 2 年生 14 名、1 年生 15 名の計 29 名。1 年後の高校総体をチームが一回りレベルアップした形で迎えるべく、「人として成長する！」を合言葉に、緊張感のある中新チームの練習をスタートしました。新チームの選手自身の可能性を最大限引き出し、チーム目標を達成するべく、これからもより一層選手とともに頑張っていきます。今後ともご支援・ご声援よろしくお願いたします。



■女子バスケットボール部

顧問 中田 浩文

平成30年4月に7名の新生を迎え、2年生7名・3年生8名合計22名で、女子バスケットボール部は2018年度をスタートしました。昨年新チーム結成から各種大会で、結果を残すことはできていませんが、生徒たちは精一杯最後まで諦めず粘り強くプレーしました。3年生を中心に闘うことができ、充実した時間を過ごすことができました。また、部活動にご理解とご支援いただいた保護者の皆様に感謝したいと思います。現在は、1・2年生の新チームで活動しておりますが、次の大会に向け、生徒たちとともに頑張っていこうと思います。

■テニス部

顧問 三浦 勝則・田中 真裕

今年度4月に男女合計で12名の1年生が入部し、部員総数36名で2018年度をスタートしました。その際、初めに部員全員が自分の目標を立て、それを意識して日々練習に励んでいます。その結果もあってか、大会上位で獲得できるポイントを持つ選手が男女ともに出てきました。土曜日の遊学講座の後には多くの高校と練習試合を行い、実戦経験も積みましました。しかし勝負の世界は厳しく、高校総体において団体戦は男女ともに初戦敗退という結果となり、お互い悔しい思いをしました。総体後、新チームとなり今大会の悔しさを糧にさらに自分に厳しく練習に励んでいます。その中で全員が声を掛け合い、足を動かすことで少しずつ元気な雰囲気ができつつあります。またテニスの日々の練習も大切ですが、それ以上に支えてくれる方々への感謝も忘れてはいけません。まだまだ足りないところは多々ありますが高校総体よりも良い結果が残せるように精進していきます。今後ともご支援、ご声援よろしくお祈いします。



■バドミントン部

顧問 刑部 純至

バドミントン部は、男女ともに経験者から初心者までチームワーク良く、日々の練習に励んでいます。かつての金城高校時代は全国大会出場の常連で、全国チャンピオンを輩出（昭和33年）したこともある歴史と伝統を誇っています。

今年度は4月の金沢地区大会、6月の石川県高校総体ともに目標に届く結果とはなりません。結果を受け入れ、反省し、新チームとなった今では新たな目標に向かって練習を重ねています。

日々の練習の中で、OB、OGをはじめ、外部からたくさんの方々練習相手になってもらっています。大人の方と関わることで、技術面はもちろんですが、目上の人に対する礼儀や、感謝の気持ちも育むことができます。この経験を通して人間的にも大きく成長してほしいと願っています。合宿、遠征などでさらにチームを結束させ、よりよい人間関係を築けるように、心身共に強い人間になれるように、そしてなにより、勝負を勝ち取れるように、顧問一同全力で生徒をバックアップしていきたいと思っています。



今年6月からの新チームは、人数が多く1.2年生57人で練習をしていますが、チーム全体がまとまったチームになっています。目標をしっかりと持ち、礼儀の心を忘れず、日々練習に取り組んでいきたいと思っています。

言い尽くされた言葉ですが、練習で流した汗や涙、試合前のドキドキ感やワクワク感は、頑張る部活を続ける者だけが味わえる特権です。これからも、バドミントンが大好きで一生涯懸命に取り組める部員を集め、部旗に掲げた「一球入魂」、「不撓不屈」（あきらめないこと）の精神と感謝の気持ちを忘れず、さらに精進していきたいと思っています。よろしくお祈いします。



■サッカー部

顧問 吉川 幹大・岸 玲衣

男女共学にもなって創部し、今年の部員数は87名です。

昨年のインターハイ予選は第3位、全国高校サッカー選手権石川県大会準優勝でした。

今年は4月から始まった石川トップリーグにおいては、県内の強豪校（星稜・鵬学園など）に負けることなく対等に勝負できる実力をつけてきました。

今年はインターハイ予選で準決勝において金沢桜丘高校に敗れてしまい悔しい思いをしました。冬の全国高校サッカー選手権石川県大会こそ必ず石川県を制して、全国のピッチでどんな戦いができるかを最大の目標にこれから厳しい夏の暑さにも負けずに努力していきたいと思っています。

このチームの成長は決してピッチ上だけではなく、学校で、家庭で、生活全体が前向きに進んだ成果だと思います。学校では先生方やクラスの仲間、家庭においては親御さんや兄弟、我々の周りにはたくさんの方々を支えているということ再度確認し、この支えていただいている方々に対しての感謝の気持ちを忘れることなく、これまでの経験の集大成として今後の大会には、「遊学館の新たな歴史のはじまり」を果たしたいと思っています。



男子駅伝競走部

顧問 森賀 康裕

男子駅伝競走部は、2007年4月に創部され今年12年目を迎えようとしています。現在、部員は22名で全国高校総体、全国高校駅伝での上位進出を目標に厳しい練習に励んでいます。

昨年11月5日に行われた石川県高校駅伝競走大会では、9年連続10回目の優勝をすることができました。全国高校駅伝では1区32位とスタートから出遅れ、その後も順位を上げることができず、最終的に32位と力を出し切る事ができませんでした。

また今年度、石川県高校総体では5000mで1,3,5位になるなど順調に力をつけてきています。この走りを秋の駅伝につなげていければと思っています。

昨年の結果に満足せず、応援して下さる保護者の方々、学園の諸先生方のためにも全国高校駅伝に出場し、みなさんに元気の与えられる走りができるよう生徒達と力を合わせ、目標に向かって頑張っていきたいと思っています。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



女子駅伝競走部

顧問 尾谷 力

皆さんこんにちは。女子駅伝競走部顧問の尾谷 力です。本年度は部員14名で、全国高校総体、全国高校駅伝での上位進出を目標に日々練習に取り組んでいます。

昨年11月に小松市で行われた石川県高校駅伝競走大会では、僅か2秒差でライバル校に惜敗し、目標とする大会に出場することができませんでした。成績としては悔しい結果に終わりましたが、努力と工夫、そして継続することで自分たちを伸ばすことができるという経験することができました。今年度はこの経験をなんとしても結果に結びつけることができるよう仲間たちと協力して頑張っていきたいと考えています。

また、3月に卒業した吉田 優海さん(国士館大学所属)は、高校時代の戦績により世界競歩チームレースの日本代表に選出していただき、去る5月6日に中国は深川で開催されたレースに参加して来ました。今後の活躍に期待したいと考えています。

それも普段から選手たちを温かくサポートして下さった皆様のお陰と深く感謝しております。この場をおかりしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、今年度も新たに5名の新入部員を迎えました。5人とも将来有望な選手で、現在順調に練習を消化してきています。活動はまさに山あり谷ありと常に順調とはいきません。しかし、ピンチの時こそ、校章『雪に梅』の金城魂を胸に、常に選手達と歩みを共にしながら、喜びも悔しさも心の糧とし、常にはだかの自分と向き合い、限りなき挑戦を合い言葉に、目標とする全国高校総体、全校高校駅伝でさらなる飛躍を目指し頑張っていきたいと思えます。これからもご支援のほどよろしくお願いいたします。



硬式野球部

顧問 中川 光雄

【遊学館は夏に強い】

新チーム結成から秋・春と県大会を戦ってきたが、二大会あわせて2勝しかしていない。一大会で4勝・5勝することが当たり前のような遊学館野球部が今年のチームは勝てていない。いま彼らは公式戦での勝利に飢えている。夏の大会でこれまでの悔しさを爆発させるために練習し、進化している。

県内の他校の状況は、春の選抜大会において、石川県初となる二校がベスト8達成。その他にも甲子園に出場すれば、勝てるチームが存在している。一方遊学館は、甲子園に出場すること自体が難しいだろうと言われている。

でも、そんなことは、これからの戦いには関係ない。遊学館は夏に強い。県内のどのチームよりも夏に結果を残している。今年も夏の頂点まで一気に駆け上がる。



剣道部

顧問 高橋 裕也

剣道部は日頃の稽古を有意義に行うことに重きを置いて活動しています。今年度の総体は男女ともにメンバーが揃いませんでしたが、女子がなんとか1回戦で勝つことができました。

剣道部は本校において唯一の武道の部活です。剣道の技術だけではなく、身だしなみや礼儀作法などでも成長できる部活動を目指しております。剣道部の手ぬぐいには「雲外蒼天」の文字が入っております。これは、「困難を乗り越え、努力すれば快い青空が望める」という意味です。今年度は初心者が入部もあり、経験者に負けずに日々成長しております。部活動だけではなく、学業面も疎かにならないようにしており、特別進学クラスに所属して文武両道を目指している生徒もおります。剣道を通して人間として成長するべく、日々の稽古に励んでおります。

■応援団

顧問 谷内田京子・阿久津 光・深代 真一

応援団は愛校心を持ち、全校生徒が心一つに応援できるよう、活動をしています。昨年の、硬式野球部石川県大会、準決勝・決勝の全校応援では、大きな声で応援できるように、選手の名前ボードを掲げたり、冷たいおしぼりを配りました。また、冷たい雨の中行なわれたサッカー選手権大会石川大会の決勝戦では、スティックパルーン、メガホンを配り応援を盛り上げました。12月に行なわれた全国高校駅伝では、西京極競技場に横断幕をかけ、都大路で大声援を送りました。今年もたくさんの方々の場所で、応援のサポートができるよう頑張ります。

■吹奏楽部

顧問 大嶋 直樹

吹奏楽部が本格的にマーチング活動をスタートして以降、外部からの演奏依頼のほぼ8割は「マーチング演奏でお願いできますか?」と頼まれることが多い。座奏演奏ではなくマーチング演奏が求められる理由はいくつかあると思うが、まず視覚的情報も多く、聴衆に伝わりやすいこと。そして、高校生の持つ躍動感に満ち溢れた姿が聴衆の心を動かすこと。そして、この北陸で本格的なマーチング活動をするバンドがまだ少ないため、今の遊学館に求められていることなどがあると感じている。動いて演奏演技することは、座奏演奏に比べて安定して美しく演奏することはとっても難しい。でも、座奏演奏で磨いたサウンドを活かして、日本一美しく、力強いマーチングバンドを目指したい。もちろん、吹奏楽コンクールでの結果にもこだわり、遊学館にしかできない音楽を追求して聴衆を魅了していきたい。



■合唱部

顧問 加藤 道子

合唱部では「心を奏でる 心で奏でる」をモットーにして、日々練習に取り組んでいます。今年度は美しいアンサンブルにしていくという目標とソロ(独唱)で歌う力を高めるためにソロコンテストにも参加するという2つの目標に向かって力を合わせていきます。また、金城大学短期大学の幼児教育コースの学生の皆さんと年に数回、合同合唱する機会もあり、その貴重な機会も大切にしていきたいと考えています。

■文芸部

顧問 中村ゆかり

現在文芸部は、3年生3名・1年生1名で火・水を中心に活動しています。部員数は変化がないものの1年生が入部し、また新たな気持ちで取り組んでいます。

6月に開催される高文連主催の創作研修会参加、「白梅通信」の発行に加えて中学生の体験入部も実施の予定です。また様々な活動を充実させるために、金沢市内文学散策も計画をしています。この一年の活動を3年生は集大成として、1年生は今後につながる活動として、より多くの経験を積んで盛り多いものとなるようにしていきたいと思えます。

■茶道部

顧問 道上ちひろ

茶道部は裏千家の大島宗広先生を講師としてお迎えし稽古を行っています。お稽古ではお手前の練習だけではなく、日本の四季や伝統文化など幅広く学んでいます。季節折々の美しいお菓子も楽しみのひとつになっています。6月に小松で行われた高文連茶道部茶会では、多くの高校の茶道部員が集まり交流を図ることができました。外部での活動は多くはないですが少しずつ活動の幅を広げていきたいと思えます。

■美術部

顧問 山本妃沙美・光谷 和子

美術部は週に3回ほど活動しています。設備に恵まれたアトリエで、個々の個性や世界観を尊重した制作に励んでいます。イラストや写実的な絵など、なんでも好きな題材で描いています。主な目標は、年に2回ある総合文化祭の展示と、絵画コンクールの出品です。

また、定期的に人物クロッキー会やスキルアップ講座、美術鑑賞なども行い、各自の技術と感性を磨いています。そして、美術系への進学や就職を考えている学生は、より専門的な美術の知識や受験用の技術を個別に習得しています。

・・・さあ、遊学館から世界の舞台へ、積極的にアートを発信していきましょう!



■クッキング部

顧問 加藤 道子

クッキング部では、「生活に生かせる力」をモットーにして取り組んでいます。実際にバランスのとれた日々の食生活に生かせる献立に挑戦しています。短時間で、手際よく、美味しい食事するために腕を磨いていきたいです。また、料理をする準備、素材選び、段取り、盛り付け、後片付けなど食生活にかかわる全ての過程を大切に実践力を身に付けていきたいと考えています。



英語部

顧問 山本 裕美

英語部は現在3年生5名、2年生5名、1年生1名の計11名で毎週水曜日と金曜日の放課後に活動をしています。

主な活動は、水曜日にはネイティブスピーカーのマーク先生と一緒に、英会話の練習や英語を使って楽しいゲームや活動を行っています。また、金曜日には英語検定試験に向けての対策や授業の復習を行い定期試験に反映するような学習を行っています。

みんな和気あいあいと楽しく積極的に英語の勉強をしています。少しでも英語に興味を持てるように取り組んでいきたいと思います。

パソコン部

顧問 小坂 英洋

パソコン部は毎週水曜日に第一コンピュータ室で活動しています。活動はパソコン検定を主に、各自が目標を持って行っています。

活動内容は、パソコン検定はワープロや表計算、プレゼンテーションなどの検定試験に向けた練習を行い、パソコン検定以外にもゲームプログラミングなどをする部員もいます。今年はプログラミングに興味のある生徒が多く、上級生が下級生にプログラムを教えるという活動もしています。

顧問の小坂先生は、プログラムの知識が豊富で、わからないことはすぐに教えてくれるので、とても頼りになります。

また、2学期から3学期にかけて「ざぶん賞」という小・中学生の作文コンテストの応募作品をワープロ入力をするボランティアにも参加しており、毎年主催者からボランティア認定証を受けています。

今後一人ひとりの技術の向上と、目標の達成に向けて頑張っていきます。

インターアクト部

顧問 川尻 慶之・小坂 英洋

インターアクト部は、金沢ロータリークラブの支援を受け、昭和61年に発足しました。現在24名で毎週水曜日に活動しています。主な活動は、ペットボトルを洗浄してキャップを集め、協力企業に寄付することでワクチンを寄付することができる「エコキャップ運動」や、学校周辺や犀川河川敷などでゴミを拾う「クリーンキャンペーン」です。また、学校内で行われる行事の準備や後片付けなども行っています。

6月1日、高文連主催行事として犀川から片町、いしかわ四高記念公園まで「クリーンキャンペーン」を行いました。毎年百万石まつりの前日に、清掃活動を行っています。

6月10日、「インターアクト協議会」が行われ、石川県・富山県のインターアクト部の代表が集まり、交流を深めました。研修会ではロシア語の学習体験も行いました。

夏休み中は、希望者が学童施設の訪問ボランティアを行いました。

8月27日に行われた「24時間テレビチャリティー募金」では、金沢駅西口と東口に別かれ、募金活動を行いました。たくさんの方に募金をしていただきました。ありがとうございました。

9月の学園祭では、「ポリオ募金」を行い、金沢ロータリークラブを通じて国際ロータリークラブに募金をしました。ポリオはもう少しで世界から撲滅できる病気です。

10月1日、「春日ケアセンター祭」に参加し、金沢ロータリークラブと合同で焼きそばの屋台を運営し、多くの方に喜んでいただきました。

10月29日には「金沢マラソン沿道ボランティア」(東山地区、18km地点)をしました。当日は寒く雨も降っていましたが、ランナーや沿道で応援する方々の安全を見守りました。

11月3日、金沢高校で行われた「インターアクト年次大会」に部員全員が参加しました。

11月19日、5年に一度開催される「泉鏡花フェスティバル」のボランティアに参加し、来られた方の整理や展示品の管理を行いました。

11月から1月にかけて、小・中学生の水に関する作文コンテスト「ざぶん賞」の応募作品をパソコンに入力するボランティアにも参加しています。10年以上も続いている活動です。

3月には海外研修があり、今回は「オーストラリア研修旅行」(5泊7日)に2名が参加しました。ホームステイやオーストラリアの中・高校生との交流を通して、異文化に触れる貴重な体験をしました。

今後も活動をさらに活発にし、社会貢献と国際交流に務めていきたいと思っています。



オーストラリア研修旅行



24時間チャリティー募金



春日ケアセンター祭



金沢マラソンボランティア

理科部

顧問 杉本 康大

現在、1年生の部員が1名で活動しています。理科部では、個人個人の目的や興味に応じて、主体的に取り組めるようアドバイス等を交えながら、活動しております。ここ数年間、部員がいない状況だったので、対外的な活動もゼロからのスタートとなりますが、3年後にこの歩みをまとめることができ、部員とともに達成感が得られるようにサポートしていきたいと思っています。また、新入部員も募集中であり、この遊学館で興味や関心を疑問や課題に結びつけ、それを解決するためのアプローチ法を考え、実行に移し、更なる疑問の解決に向けて進んでいくというプロセスを重視しながら、彼らがこれから解決しなくてはならない「解のない問い」に向かっていくための生きる力を育めるよう、個々に対応しながらもさまざまな分野への積極的な参加を促していきたいと考えております。そして、その個が互いに刺激しあいながら、協働することで新たな分野が切り開かれることを信じて部員とともに成長していきたいと思っています。今後ともご支援宜しくお願い致します。

■ 囲碁将棋同好会

顧問 深代 真一

囲碁将棋同好会は現在2年生2名、1年生5名の計7名が在籍しています。活動日は、火・水・金の週3日です。和室が使用できる日は、将棋盤で対局を重ねます。対局後は部員同士で譜面を振り返り、より良い将棋がさせるように練習を重ねています。また、和室が使用できない日は、コンピューター室で将棋ソフトと対局をします。「礼に始まり、礼に終わる」ことを大切にしています。



立ち上げの時から参加している1期生は経験者ばかりではありません。初心者は経験者から駒の動かし方や戦法を学び、経験者同士は対局を重ねています。レベル差はありますが、それぞれ真剣に取り組むことができおり、毎回活発な練習が行われています。また、部員募集を継続的に行っており、チラシを作ったり、体験入部を受け入れたり、囲碁将棋以外のことも学んでいます。今後は、年3回ある大会で上位入賞し、全国出場を目標としていきます。



■ 郷土史研究同好会

顧問 五嶋 祐佳

郷土史研究同好会は、今年度から新しくできました。「郷土史研究ってなに？」と思う人が多いですよね？「郷土」とは、自分が生まれ育った土地という意味です。簡単に言うと、自分たちが通っているこの遊学館の周辺や金沢という町を研究し、たくさんの人たちに知ってもらおうという活動です。

6月1日には、春季合同研修会に参加し大野のまちなみを見学してきました。「大野からくり記念館」



では、からくりのおもちゃで高校生たちが楽しく遊んでいる姿が見られました(笑) 高校生が好んで行くような施設ではありませんが、「勉強になった!」という声が聞けて、学びきっかけをつくることができ良かったと思いました。

新幹線が開通してから、金沢に外国人も含めた観光客が増えました。ただ…悲しいことにリピーターがいません。外国人に少しでもこの町をアピールできるように、リピーターがこの町に増えるように、遊学館から発信していきたいです!!



■ ダンス同好会

顧問 磯部 早紀

今年度から発足しましたダンス同好会は、3年生7名、2年生13名、1年生15名の総勢35名で活動しています。活動としては、中学生の体験入学でのダンス披露、学園祭の出演、遊学講座閉講式での発表などがあります。今後はイベントでの発表やダンス合宿などへ積極的に参加していきたいと考えています。

また、遊学講座では金城大学短期大学の廣瀬元先生にご指導いただくなど、幅広いダンスジャンルを練習しています。

部員の中には、高校からダンスを始めた生徒も多数おり、その成長が著しく、わくわくしながらダンスを踊っている姿に心動かされます。また、生徒主体の活動なので、生徒同士話し合い、コミュニケーションをとりながらの楽しい部活動です。

平成29年度 金城学園財務概要

事業活動収支計算書

(単位：千円)

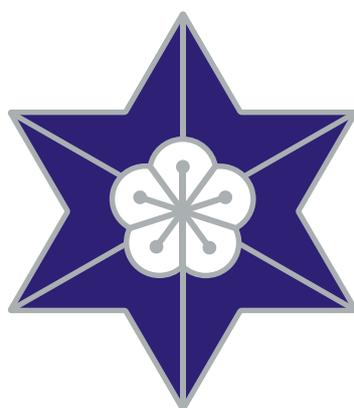
科 目		金 額
教育活動 収支	教育活動収入計	3,862,362
	教育活動支出計	3,672,352
	教育活動収支差額	190,010
教育活動 外収支	教育活動外収入計	5,227
	教育活動外支出計	23,245
	教育活動外収支差額	- 18,018
経常収支差額		171,992
特別収支	特別収入計	71,010
	特別支出計	863
	特別収支差額	70,147
基本金組入前当年度収支差額		242,139
基本金組入額合計		- 238,790
当年度収支差額		3,349

貸借対照表

(単位：千円)

資産の部		金 額
科 目		金 額
固定資産		10,230,066
有形固定資産		9,635,818
特定資産		510,583
その他の固定資産		83,665
流動資産		2,581,134
資産の部 (合計)		12,811,200
負債の部		金 額
科 目		金 額
固定負債		1,814,928
流動負債		726,335
負債の部 (合計)		2,541,263
純資産の部		金 額
科 目		金 額
基本金		14,090,723
繰越収支差額		- 3,820,786
純資産の部 (合計)		10,269,937
負債及び純資産の部 (合計)		12,811,200

*詳しくは、金城学園ホームページ (<http://www.kinjo.ac.jp/>) をご覧ください。



発行

学校法人 金城学園

遊学館高等学校

〒920-0964 金沢市本多町2丁目2番3号

TEL076-262-8484 FAX076-222-6366

Homepage <http://www.yugakkan.jp/>

E-mail info@yugakkan.jp